



Turnitin Feedback Studioは、システムにアップロードされたレポートおよび論文を、**世界最大の学術フルテキストデータベース**と照合します。

- ①インターネット上にあるウェブページ
- ②これまでにTurnitinに提出されたレポートおよび論文
- ③雑誌論文および学術論文

アップロード後数分で
オリジナリティチェックが完了

Turnitinデータベースに含まれるコンテンツ



1億6500万以上
の雑誌論文
学術論文

- CrossRef (国際DOI財団の公式登録機関) とのパートナーシップにより、CrossRef に加入している、多数の出版社により発行されたジャーナルのフルテキストとの比較が可能です。



620億以上の
ウェブページ

- 既存のウェブページで公開されている文章との一致が発見された場合、どのサイトの文章との一致があったのかを視覚的に知ることができるため、正しい引用方法と参考文献の確認をすることが可能です。



7億以上の
過去の
論文・レポート

- 提出されたレポートをデータベース化し、過去に提出されたレポートとも比較できるレポジトリ機能があるため、自己剽窃の防止にも役立ちます。

Turnitinの活用用途

- 出版社や学会への投稿する研究論文チェック
- 博士学位論文の発表・公表前の論文剽窃チェック
- 国際会議投稿論文のチェック
- 紀要に掲載する論文のチェック
- 盗用・剽窃防止に対する意識向上、不正の抑止
- 自己剽窃のチェック

Feedback studioでのレポート提出の流れ

※課題作成時の設定により提出データをturnitinのデータベースに残すか残さないかの選択が可能です。



Step1
クラス作成

Step2
受講生登録

Step3
課題作成

Step5
添削



【チェック可能なファイル】



Step4
レポート提出

Step6
フィードバック

レポートオリジナリティチェックの例

講師提出画面

Click

ファイルを提出する

オンライン評価レポート | 課題設定の編集 | 未提出者にメールする

著者	タイトル	類似性	成績評価	回答	ファイル	レポートID	日付
<input type="checkbox"/>	Kumi Mochida	地球の自然破壊を防ぐためには	84%			1012223558	2018年10月02日



feedback studio

地球の自然破壊を防ぐためには

提出した文章に対するデータベース内の文章の一致率を表示

84%

一致した箇所がハイライトされる

一致したソースが類似率の高い順に個別に表示される

レポート結果をPDFでダウンロード可

現在の環境破壊問題は、年々深刻化しており、大きなグローバル問題になっています。右のグラフは「Living Planet Report: 生きている地球レポート」が設けている、大きな指標の一つが、地球の生物多様性の劣化を示す「LPI: Living Planet Index (生きている地球指数)」。3,000種以上の野生生物の10,000以上の個体群を調査し、個体数がどれくらい減少したかを基に計算したものです。この「生きている地球指数」は、1970年時点と比較して、世界平均で52%も低下しています。つまり、地球の自然の豊かさが、それだけ損なわれてきた可能性を示しています。世界では今、2万種を超える、野生の動物や植物が、深々と、この失われていく地球の自然環境の現状と大きく関係しているといえるでしょう。こうした環境の悪化の大きな原因となっているのが、人類による地球の「使すぎ」です。人間の活動は今、地球の自然環境から生み出される資源を多大に消費し続けています。しかし、消費がどれほど

■生きている地球指数 (LPI)

順位	ソース	類似率
1	home.hiroshima-u.ac.jp	30%
2	www.wwf.or.jp	30%
3	www.jccca.org	20%
4	www.tokyo-csw.org	1%
5	thaicomcare.com	1%
6	www.asaii...	1%
7		

インターネットソースで一致した例

ハイライトされた箇所をクリックすると実際のソース内の類似箇所を確認することができます。

www.wwf.or.jp

インターネットソース

だけ損なわれてきた可能性、世界では今、2万種を超える、この失われていく、こうした環境の悪化の、人間の活動は今、地球の、増加しても、地球1個分の、地球資源の使いすぎ問題に対しては、昨今、世界規模で増加・拡大を続ける経済活動と人口が大きく関係していると言えます。資源の消費量が増えるのは、人口の増大に伴い、一人当たり消費量が增大している結果、でも過言ではありません。

さらにソース全体のテキストを表示することができます

ソース テキスト全体

一致 1/1

http://www.wwf.or.jp/e... 13%

インターネットソース

「Living Planet Report: 生きている地球レポート」が設けている、大きな指標の一つが、地球の生物多様性の劣化を示す「LPI: Living Planet Index (生きている地球指数)」です。これは、世界各地の陸域、川や湖などの淡水域、海洋に生息する、3,000種以上の野生生物、10,000以上の個体群を調査し、個体数がどれくらい減少したかを基に計算したものです。この「生きている地球指数」は、1970年と比較して、世界平均で52%も低下しています。つまり、地球の自然の豊かさが、それだけ損なわれてきた可能性を示しています。世界では今、2万種を超える、野生の動物

“類似率が高い＝剽窃”ではありません。

Turnitinのオリジナリティチェックではデータベースに収録されている文章と提出された文章を比較し、一致箇所を指摘します。提出された文章の中で適切に引用がされている箇所でも、表現が一致すればハイライトされ、一致率に反映されます。剽窃かどうかの判断は、必ず査読やチェックをする専門家の目で内容まで確認をした上で判断して頂く必要があります。従って一致率が高いからよくない、低いからよい、ということは一概に言えないことにご注意ください。

問い合わせ



iJapan株式会社 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-16 アルテ大手町 9F

TEL : 03-5577-4899 / FAX : 03-5577-4809 Email: info@igroupjapan.com

